

今週のメニュー

■トピックス

中央区「第18回2021年 子供とためす環境まつり WEB版」に参加

■随想

◇大雪の被害軽減のために

気象予報士・防災士 水越 祐一

■トピックス

◇中央区「第18回2021年 子供とためす環境まつり WEB版」に参加

これまで毎年秋に、中央区の小学校を会場に開催してきた「子どもとためす環境まつり」は、新型コロナウイルスの影響で昨年に引き続きインターネット上で開催、10月16日(土)より公開されています。期間は2022年3月末までです。

中央区環境保全ネットワークは、「中央区内の在住在勤の区民・企業・行政が連携・協働して中央区の環境保全に取り組み、より良い地球環境を次世代に残す」という目的を掲げ、中央区内の小学校を会場とした体験型環境学習イベントなどを主催しています。その活動の一環で「子どもとためす環境まつり」を2004年に初開催し今年で18回目を迎えました。VECは2008年より「NPO法人持続可能な社会を作る元気ネット」と共同で参加したことを契機に13年連続で参加しています。

2020年は新型コロナウイルスの影響で対面式イベントの中止により、「子どもとためす環境まつりWEB版」～ネットを通して環境について学んでみよう!～を開催しました。17企業・団体が出展し、例年同様にオンライン上でも楽しく環境について学んでいただけるように、各出展団体もWEB版の環境まつりを創意工夫で盛り上げました。

さて、2021年は出展者が昨年より増え24企業・団体が参加しています。「子どもとためす環境まつりWEB版」では、国連サミットで採択されたSDGs(Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)を応援しています。各出展団体は、SDGsに関係する取り組みについて動画の中で紹介しています。皆さんも17ある開発目標のどの取り組みと関係があるのか探してみたいはかがでしょうか。



VEC のサムネイル画面

VEC は、汎用プラスチック素材のうちの一つである塩ビ（ポリ塩化ビニル）が身の周りの様々な場面で活用され、暮らしの中で役立っていることを紹介しています。2021 年は昨年の続編として「塩ビってなんだろう？～二の巻」というタイトルで動画を出展しています。軽くて、錆びない、長持ちする特性に優れている塩ビ管は、SDGs のゴール6「安全な水とトイレを世界中に」への貢献に関係していま

す。動画ではクイズ形式で塩ビは鉄より軽いこと、50 年以上使用しても丈夫であることを伝えています。その他にも、丈夫で長持ちすることから床材などの建材や医療用具、また断熱性能に優れることから省エネに貢献する樹脂窓、そして、長く使った塩ビ管がもう一度塩ビ管に生まれ変わる水平リサイクルを 20 年以上も前から行われていること、高速道路で横断幕として使用した生地をバッグへと形を変えるアップサイクルの事例について紹介しています。

塩ビはいろんなところで、形を変えながら安全で安心できる、快適な生活に貢献している素材です。是非、「[子どもとためす環境まつり WEB 版](#)」の web サイトより、VEC の動画をご覧ください。

■ 随想

◇大雪の被害軽減のために

気象予報士・防災士 水越 祐一

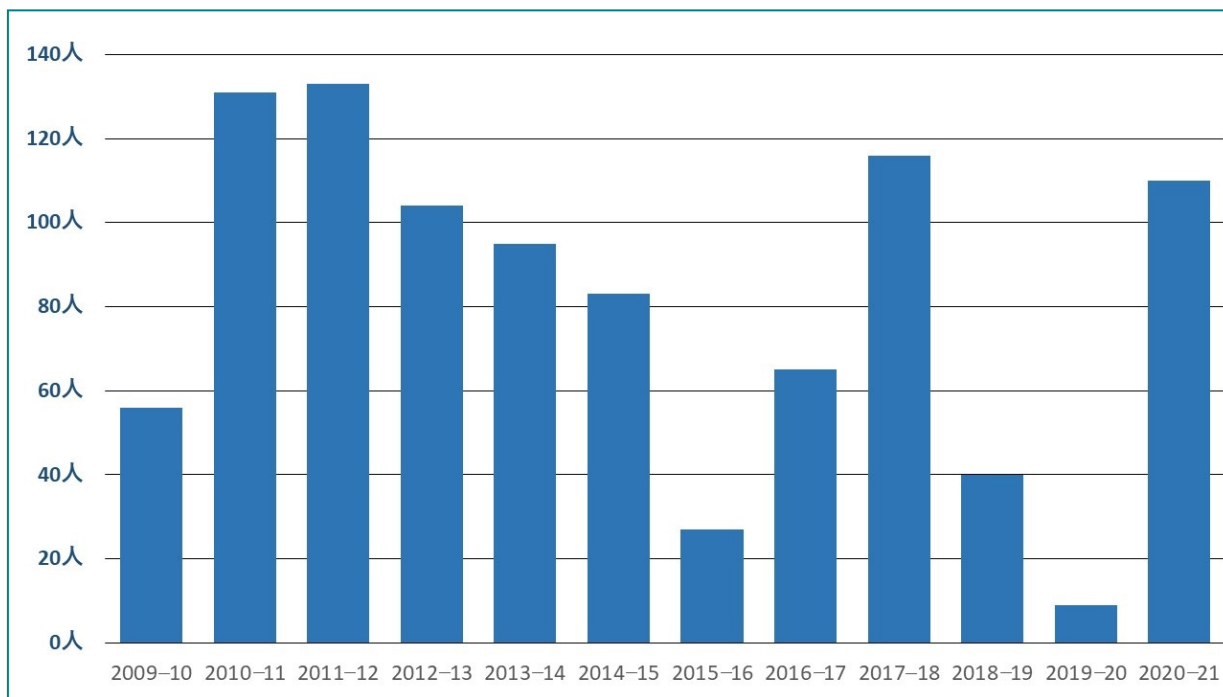
昨冬は日本海側の広い範囲で記録的な大雪になりました。2020 年 12 月には群馬県みなかみ町藤原で 24 時間降雪量 128 センチを記録、急激に増えた積雪で関越自動車道では 2,000 台を超える大規模な立ち往生が発生しました。大雪は 1 月にかけて断続的に続いて、最深積雪は新潟県高田市で 249 センチ、富山市で 128 センチなど 35 年ぶりの大雪になった所もありました。



2020 年 12 月 18 日 関越自動車道の立ち往生
出典 国土交通省

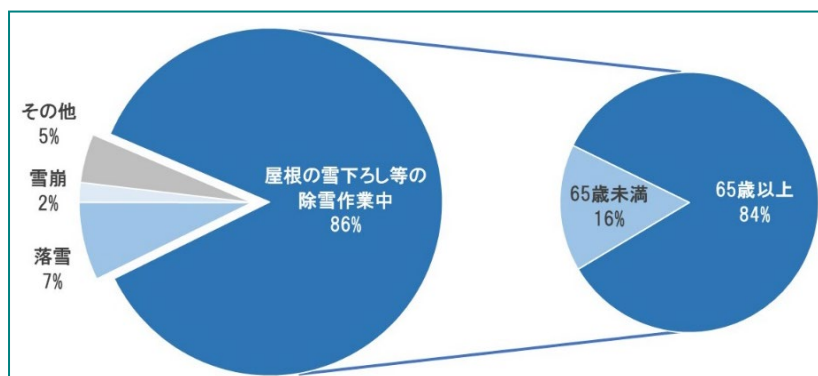
地球温暖化で大雪は減ると思うかもしれませんが、実は極端な大雪は増える恐れがあるのです。気象庁が発表した温暖化予測「日本の気候変動 2020」では、今世紀末に平均的な降雪や積雪は減少すると予測されていますが、10 年に一度の大雪は「本州山岳部や北海道内陸部で増加する可能性がある」とされています。地球温暖化すると雪でなく雨で降ることが多くなるのですが、一たび寒気が強まると、日本海の海面水温が高くなっているので大量の水蒸気が供給されて雪雲が発達し大雪がもたらされるのです。昨冬の大雪も、まさにこのような状況でした。

昨冬は大雪で 110 人の方が亡くなりました。消防庁のデータによると、近年でも死者数が 100 人を超えることが少なくありません。人的被害としては非常に大きな気象災害と言えます。その内訳を見てみると、2020 年から 2021 年の冬では「屋根の雪下ろし等の除雪作業中」が 86%を占めています。そのうちの 84%が 65 歳以上の高齢者です。国土交通省は、豪雪地帯ほど人口減少や高齢化が進み、除雪の担い手が減少していることが背景にあると分析しています。大雪の被害は、単なる自然災害ではなく、社会的な要素も大きいのです。



雪害による年間死者数 出典 今冬の雪による被害状況（消防庁）

雪下ろし中の転落事故が多くなっていることについて、長岡技術科学大学の上村靖司教授はこんな問題提起をしています。雪下ろしの注意として、行政機関もマスコミも必ず「命綱をつけましょう！」と呼びかけます。命綱とは体に結ぶロープのことです。では、そのロープはどこに結ぶのでしょうか？実は屋根の上



2020 年～21 年の雪害による死者数の内訳 出典 今冬の雪による被害状況（消防庁）

にはロープを固定できる場所がないことが多いのです。シートベルトで言えば、差込口がないのと同じことです。そこで上村教授は屋根にロープを固定できるアンカーを設置することに自治体が補助金を出せる制度を作る運動を行っています。その活動のおかげで新潟県や長野県では補助制度を作る自治体が少しずつ増えています。私も気象予報士として、このようなサポートが増えていく手助けができればと思っています。



命綱を固定するアンカーが重要 出典 新潟県ホームページ

また除雪の担い手が少なくなっていることについては、都市部などからボランティアで除雪を手伝う活動が広がっています。しかし除雪は危険と隣り合わせの、経験と技術の必要な作業です。そこで各地で「雪かき道場」として、雪かきの技術を伝達しながらボランティア活動を行う団体も増えています。私も雪かきボランティアに参加したことがあるのですが、雪の少ない地域に暮らしている身にとっては、雪かきは新鮮な楽しい経験でした。コロナ禍が落ち着いたら、また雪かきに行きたいと思っています。興味のある方は、ぜひ「雪かき道場」で Web 検索をしてみてください。

■ 関連リンク

- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)

※本メールマガジン上の文書・画像等の無断使用・転載を禁止します。



■ 東京都中央区新川 1-4-1

■ TEL 03-3297-5601 ■ FAX 03-3297-5783

■ URL <http://www.vec.gr.jp> ■ E-MAIL info@vec.gr.jp